

平成 29 年 4 月 18 日

## 平成 29 年度第 1 回 IR 実務担当者連絡会の開催について（第 2 報）

大学評価コンソーシアム

### 1. 開催の主旨

IR 実務担当者連絡会は、IR や評価など高等教育機関における現状把握・現状分析に携わる実務担当者が集い、事例紹介と議論を通じて評価および IR における実践知の整理と体系化に向けた「経験値」の積み上げを図ることをねらいとし、平成 26 年度から現在までに計 9 回開催しております。

評価や IR 業務では、学外秘など取り扱いに注意しなくてはならない情報が多く、「ありのまま」の事例を報告することが難しい状況にあります。しかしながら、評価や IR 業務の発展のためには、事例の共有や、事例をもとにした議論は不可欠であることを鑑みて、参加人数を限定した上で、可能な範囲で事例を共有しようと企画したものです。

本連絡会は年 4 回の開催を計画しており、今年度の最初となる第 1 回は、「立命館大学大阪いばらきキャンパス」で開催いたします。この時期の開催は初めてのケースとなり、開催時期の調査を兼ねたものでもあります。

まずは報告希望者を募り、その後、参加者を募集します。報告の方法として、資料を配付せずプロジェクターで示すのみの報告や、架空のデータを用いた報告も受け付けます。連絡会では、3 ないし 4 件の事例報告と、それに対する質疑応答、総合討論を行います。本連絡会の特長として、質疑応答は質問・感想票を用いて行い、参加者からのすべての質問に回答できるよう、質疑応答の時間を比較的長く設定しています。これまで毎回たくさんの質問が寄せられており、質疑応答で制限時間いっぱいになってしまうことが多かったことを踏まえ、これまでの連絡会で比較的多く寄せられたご質問とその回答についてはコンパクトにまとめて報告することを検討しています。

なお、本連絡会で報告された事例は、参加者だけで共有するには「勿体ない」レベルのものが多くあります。そこで、各報告者には、本連絡会での議論の結果を踏まえ、学内の事情が許す範囲で情報誌「大学評価と IR」へ投稿していただき、参加いただけなかった方を含め、我が国の評価や IR の担当者や関係者と情報を共有していけるようお願いいたします。

### 2. 日時・会場

平成 29 年 5 月 19 日（金）13：30－17：15

立命館大学 大阪いばらきキャンパス A 棟 3 階 AS357 セミナールーム

（大阪府茨木市岩倉町 2-150）

<http://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=229844&f=.pdf>

### 3. 対象者

IR（現状把握・現状分析）に興味があり大学評価や学務、経営企画等に関連する調査などに従事したことがある教職員や IR に関する実践事例などに興味がある方。

- ・平成 29 年 4 月 19 日（水）13 時から申し込みを開始します。
- ・申し込みは大学評価コンソーシアム Web サイトからお願いします。

### 4. 定員

講演者・スタッフ込み 35 名

### 5. 参加費

徴収しません。

### 6. 注意

- ・「ここだけの話」的な雰囲気確保のため、**録音、撮影はご遠慮ください。**
- ・運営スタッフが録音、撮影を行います。録音は報告者への提供用です。撮影した画像は報告用 web ページの素材として小さくトリミングして使います。
- ・原則として要点を記したレジюмеもしくはスライド資料を配布します。

### 7. タイムテーブル

13:30-13:45 趣旨説明

13:45-14:02 「実践的 IR におけるアンケート結果の分析方法について」

○藤原 宏司（山形大学 学術研究院（IR 担当））

概要：IR におけるデータ分析の目的は、統計学を駆使した真理の追求ではなく、データを分かりやすく可視化し傾向等の把握を容易にすることにある。しかしながら、いざ分析を依頼されると、どのようにデータを可視化すればよいのか悩んでしまう IR 担当者も多いのではなかろうか。本発表では、Likert スケールを用いたアンケート結果を例に、発表者が行ったデータ分析の方法を紹介する。

14:03-14:20 「教員養成系単科大学における IR 導入期の活動の一事例」

○坂口 真康（兵庫教育大学 IR・総合戦略企画室）

岩佐 文雄（兵庫教育大学 IR・総合戦略企画室）

概要：兵庫教育大学における IR の概要について説明した上で、IR 導入期（2016 年度）の活動事例について、教員養成系単科大学に特徴的な「成果」と「課題」という観点から整理し、報告する。

14:21-14:35 「アセスメント・プランの構築と既存指標－IR 担当者の立場から－」

○白石 哲也（清泉女子大学 情報環境センター（IR））

概要：IR の立場から内部質保証を進めるにあたり、3 ポリシーをどのように繋げ、測定していくかということは、非常に重要な課題である。現在、清泉女子大学では 3 ポリシーの測定、評価することで、改善に繋がって

くためのアセスメント・ポリシーとプランを模索している。本発表では、特にアセスメント・プランをどのように構築していくかについて、IR 担当者の皆さまと議論したい。

#### 14 : 36－14 : 53 「大学ランキングへの IR の関わりについて」

○浅野 茂（山形大学 学術研究院）

概要：昨今、研究大学強化促進事業、スーパーグローバル大学創成支援事業等を通じて、世界大学ランキングにおける日本の大学のプレゼンス向上が図られている。本発表では、世界大学ランキングで求められるデータ収集、登録等において IR が果たせる役割と、実際の作業において生じる問題等を参加者と共有したい。

#### 14 : 54－15 : 11 「茨城大学における第三期中期目標期間の計画進行管理について」

○畠田 敏行（茨城大学 全学教育機構）

概要：茨城大学では、中期目標・計画の進行管理について、年度計画や指標の設定を行っている。これらの実践事例について、データや情報の流通の円滑化ということをキーワードに説明を行いたい。国立大学に固有の事情については解説を行い、公立大学、私立大学の参加者の方々にも参考となる話題を提供したい。

15 : 11－15 : 30 休憩および質問・感想票記入

15 : 30－17 : 10 報告&総合討論

・質問・感想票にもとづく質疑応答を行います。（原則的に参加者から出された質問すべてに回答します。）それに引き続いて総合討論を行います。

17 : 10－17 : 15 アンケート記入

(17 : 15－17 : 45 情報交換タイム [会場をそのまま情報交換会場に開放します])

### 8. スタッフ（予定）

浅野茂（山形大）、大野賢一（鳥取大）、小湊卓夫（九州大）、佐藤仁（福岡大）、畠田敏行（茨城大）、末次剛健志（佐賀大）、関隆宏（新潟大）、土橋慶章（神戸大）、藤井都百（名古屋大）、藤原宏司（山形大）、藤原将人（立命館大）、山本幸一（明治大）ほか

### 9. 申し込み方法

参加希望の方は大学評価コンソーシアムの web サイトからお申し込みください。平成 29 年 4 月 19 日（水）13 時から申し込みを開始します。

<http://iir.ibaraki.ac.jp/jcache/index.php>

### 10. 問い合わせ先

茨城大学 全学教育機構 総合教育企画部門 畠田 敏行

toshiyuki.shimada.ir@vc.ibaraki.ac.jp

電話：029-228-8252（AP 事業室）

立命館大学 教学部 学事課 藤原 将人

masato10@st.ritsumei.ac.jp

電話：075-813-8170

### 1 1. 次回以降の予定（含む関連イベント）

平成 29 年 7 月 14 日（金） IR 実務担当者連絡会 [会場：帯広畜産大学（調整中）]

平成 29 年 8 月 23 日（水）－25 日（金）大学評価・IR 担当者集会 2017（於：立命館大学大阪いばらきキャンパス）

### 1 2. 謝辞等

○ この連絡会の開催にあたり立命館大学様には、会場のご提供などお世話になります。

○ また、IR 実務担当者連絡会の開催には、以下の資金も利用しています。

・平成 27 年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（B）

「大学の評価・IR 機能の高度化のための実践知の収集・分析とその活用に関する研究」（課題番号：15H03469、研究代表者：畷田敏行）

・平成 29 年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（C）

「IR を活かす学内データ管理に関する研究：統合型データベース構築への第一歩として」

（課題番号：17K04603、研究代表者：藤原宏司）

